

ジビエ利活用コーディネーター登録票

令和 5 年 7 月 1 日 現在

①	ふりがな 氏 名	お がわ ひとし 小 川 人 士
③ 本人	携帯番号	090-1883-4499
	e-mail	hn※wta.att.ne.jp (送信の際は、※を@に置き換えてください)
④ 所属先	名称	玉川大学 学術研究所
⑥ (該当するものを全て選択)	専門分野	☐ 地域合意形成 ☒ ジビエ等の有効利用に適した捕獲手法 ☒ 捕獲鳥獣の解体・処理加工 ☒ 処理加工施設における衛生管理 ☐ 処理加工施設の運営 ☐ 商品開発 ☐ 流通 ☐ 販路開拓 ☐ ペットフード利用 ☐ 皮革利用 ☐ 動物園等でのと体給餌 ☐ 油脂利用 ☐ 骨利用 欧州。米国等と日本における捕獲方法や食肉処理方法の差違。欧米等では禁止されている罟猟捕獲でのジビエ食肉提供によるアニマルウェルフェア・国際問題の危険性と其の兆候。食肉処理加工全般（エージングを含む）
⑦ (該当するものを全て選択)	対象鳥獣	☒ シカ ☐ イノシシ ☐ クマ その他（ カラス（一時中断中） ）
⑧ (該当するものを全て選択)	対応可能地域	☐ 全国 ☒ 北海道 ☐ 東北 ☒ 関東 ☐ 北陸 ☒ 東海 ☐ 近畿 ☐ 中国 ☐ 四国 ☐ 九州 ☐ 沖縄 その他特定の都道府県、地域（ 交通費の支給状態により全国対応可 ）
⑨ (該当するものを全て選択し、取得年を記載)	免許及び資格	☒ 狩猟免許 （銃：取得年 平成 21 年）（わな：取得年 平成 21 年） ☐ 獣医師免許 （取得年 元号 年） 狩猟免許 網(平成 21)、鳥獣管理士(令和 2)、DSC 1(2019)、DSC 2M(2020)、 その他（ DCC 1(平成30)、お肉博士(平成28)、審査資格(ISO9001/14001(2004)、HACCP(2004))
⑫ 活動実績		
	活動期間	平成21年～
	地 域	北海道、山梨県
活動分野 (該当するものを全て選択)		☐ 地域合意形成 ☒ ジビエ等の有効利用に適した捕獲手法 ☒ 捕獲鳥獣の解体・処理加工 ☒ 処理加工施設における衛生管理 ☐ 処理加工施設の運営 ☐ 商品開発 ☐ 流通 ☐ 販路開拓 ☐ ペットフード利用 ☐ 皮革利用 ☐ 動物園等でのと体給餌 ☐ 油脂利用 ☐ 骨利用 ペットフードについては、ブリーダーや大手餌会社の安全・品質志向のレベルは非常に高い。我が子への食事以上に原材料への拘りが強い事や安定した品質と量の供給が求められる事が明らかとなり中止した。安易なペットの餌なら何でも良からうと言う発想はごく小規模では成り立つかも知れないが・・・
対象鳥獣 (該当するものを全て選択)		☒ シカ ☐ イノシシ ☐ クマ その他（ カラス：一時中断中 ）
活動内容		2018年～ 認定鳥獣捕獲等事業者講習会(北海道：N団体)の講師を毎年務め、鳥獣の捕獲・解体・処理加工・衛生管理に関する助言や指導を行っている。 全日本鹿協会・英国シカ協会・英国狩猟協会に所属し、日本と海外の鹿について研究を行っている。